



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月12日

上場会社名 株式会社ダイオーズ 上場取引所 東  
 コード番号 4653 URL http://www.daiohs.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大久保 真一  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 稲垣 賢一 TEL 03-3438-5511  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	15,805	10.8	1,159	△1.1	1,282	1.8	792	6.6
26年3月期第3四半期	14,264	22.2	1,172	20.3	1,259	25.2	743	32.3

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 1,555百万円 (30.2%) 26年3月期第3四半期 1,195百万円 (64.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	59.04	—
26年3月期第3四半期	55.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	14,137	10,576	74.8	787.00
26年3月期	11,434	9,229	80.7	687.75

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 10,576百万円 26年3月期 9,229百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

平成27年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 特別配当 5円00銭

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,865	3.7	1,589	6.5	1,611	1.4	966	8.9	72.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	13,439,142株	26年3月期	13,439,142株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	一株	26年3月期	19,154株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	13,427,997株	26年3月期3Q	13,419,989株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

#### ① 国内部門

当第3四半期連結累計期間は、期初に掲げた目標である「過去最高売上」の達成と来期の業績に繋がる基礎売上を引き上げる為の重要な時期であり、特に拡販に力を注ぎました。積上げ式のビジネスを展開する当社にとっては、この時期に売上の基礎ベースをアップさせることは来期の業績向上に大きく寄与することとなります。競争が激化する業界内においても拡販の速度を緩めることなく進めていくことが極めて重要であると考え、中期経営計画の中核となる、「エリア担当制営業管理システム」を駆使し、社内における新人育成プログラムの熟成度が高まったことから積極的に新規拡販要員の増員を図りました。その結果、当期において年間の増員計画を達成し、新規顧客売上高は期初の計画を大きく上回りました。また、「既存顧客別管理システム」の強化も同時進行させたことにより、既存顧客単価も増加しました。

取扱商品の動向については、高付加価値商品の契約件数が順調に増加し、飲料関連商品については、売上高、契約件数共に増加を示しました。

一方で、環境関連の商品についても、高品質な清掃をお届けするダイオーズカバーオールが4期連続の二桁成長を継続し、ダストコントロールにおいても堅実に売上高、契約件数を伸張させております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における国内部門の売上高は前期と比較して営業日数が2日減というマイナス条件下ではありましたが、69億40百万円(前年同期比5.5%増)と過去最高となり、期初において目標に掲げた通期での「過去最高売上の達成」に向けて順調に推移しております。一方で、営業利益は、新規拡販を加速させる為に拡販要員の増員と機器類の初期投資増加の影響により、6億45百万円となりました。

#### ② 米国部門

米国のマクロ景気は金融緩和による影響もあって堅実な状況が続いており、全米平均失業率も2014年(平成26年)12月末時点で5.6%と前年同期(6.7%)と比べて1.1%と改善しております。

当期は、当社の業務拡大の戦術であるM&Aを積極的に行ない、さらに自力による新規地域出店を効率よく押し進めてまいりました。

6月には当社初めての米国南東部拠点となるジョージア州ノークロス市にてコーヒーサービス事業の譲受によりアトランタ支店を開設、9月には事業譲受によりフロリダ州マイアミ近郊にフォートローダーデール支店を開設いたしました。

また、5月にはカリフォルニア州モデスト市場で、6月にはネバダ州リノ市場の既存拠点で中規模のM&Aを実施しました。その他の既存拠点も堅調に売上が推移した結果、売上高は88億64百万円(前年同期比15.3%増、ドルベースでは6.7%増)となりました。

一方で、利益面では新規拠点の開設による初期投資や「のれん」及び「顧客関連資産」の償却費用増加の影響などにより、営業利益は5億87百万円(前年同期比1.8%増、ドルベースでは5.8%減)となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は158億5百万円(前年同期比10.8%増)、売上総利益は91億5百万円(前年同期比11.1%増)、営業利益は11億59百万円(前年同期比1.1%減)、経常利益は12億82百万円(前年同期比1.8%増)、四半期純利益は7億92百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて24億63百万円増加の141億37百万円となりました。主な要因は、「顧客関連資産」が7億25百万円、「工具、器具及び備品」が3億96百万円、「売掛金」が3億18百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて11億58百万円増加の35億61百万円となりました。主な要因は、「短期借入金」が9億0百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて13億5百万円増加の105億76百万円となりました。主な要因は、「利益剰余金」が5億24百万円、「為替換算調整勘定」が7億65百万円増加したこと等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月15日に公表しました平成27年3月期の連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
(耐用年数の変更)

当社の連結子会社である株式会社ダイオースサービスが保有するレンタル資産のうちサーバーについては、従来、耐用年数を3年として減価償却を行ってきましたが、当該機器の使用実績データが蓄積されたことを契機に使用実態を調査した結果、第1四半期連結会計期間より使用実態に基づき耐用年数を5年に見直し、将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が40,823千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,703,099	2,823,179
売掛金	1,902,862	2,221,312
リース投資資産	242,667	284,964
商品及び製品	797,408	967,839
仕掛品	3,859	5,076
原材料及び貯蔵品	106,079	113,200
繰延税金資産	150,458	117,913
その他	240,032	277,501
貸倒引当金	△28,724	△25,678
流動資産合計	6,117,743	6,785,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	594,753	580,692
機械装置及び運搬具(純額)	342,721	392,887
工具、器具及び備品(純額)	1,228,341	1,624,595
レンタル資産(純額)	560,527	916,144
土地	680,088	692,429
建設仮勘定	19,138	33,424
有形固定資産合計	3,425,570	4,240,174
無形固定資産		
のれん	362,577	312,435
顧客関連資産	1,135,586	1,861,061
その他	81,763	55,331
無形固定資産合計	1,579,927	2,228,827
投資その他の資産		
投資有価証券	226,532	209,764
繰延税金資産	142,149	258,797
その他	201,798	434,505
投資損失引当金	△19,391	△19,391
投資その他の資産合計	551,088	883,677
固定資産合計	5,556,585	7,352,679
資産合計	11,674,329	14,137,989

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	420,003	471,946
短期借入金	790,330	1,690,572
未払法人税等	130,255	50,795
未払費用	335,922	349,864
賞与引当金	181,124	85,508
その他	393,009	609,998
流動負債合計	2,250,644	3,258,686
固定負債		
繰延税金負債	51,365	56,747
資産除去債務	34,246	35,320
その他	66,613	210,635
固定負債合計	152,225	302,703
負債合計	2,402,870	3,561,390
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,135	1,051,135
資本剰余金	1,119,484	1,129,434
利益剰余金	7,136,670	7,661,038
自己株式	△7,939	—
株主資本合計	9,299,350	9,841,608
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,274	6,716
為替換算調整勘定	△37,166	728,274
その他の包括利益累計額合計	△27,891	734,990
純資産合計	9,271,458	10,576,599
負債純資産合計	11,674,329	14,137,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	14,264,205	15,805,019
売上原価	6,068,824	6,699,549
売上総利益	8,195,380	9,105,469
販売費及び一般管理費	7,023,307	7,945,944
営業利益	1,172,073	1,159,525
営業外収益		
受取利息	326	258
受取配当金	8,950	10,113
仕入割引	15,866	17,801
持分法による投資利益	4,621	—
為替差益	51,242	96,406
その他	11,208	15,618
営業外収益合計	92,216	140,198
営業外費用		
支払利息	4,484	9,450
持分法による投資損失	—	8,061
その他	186	72
営業外費用合計	4,671	17,585
経常利益	1,259,618	1,282,138
特別利益		
固定資産売却益	8,704	3,030
事業分離における移転利益	2,505	—
特別利益合計	11,210	3,030
特別損失		
固定資産売却損	718	17
固定資産除却損	633	16,585
投資有価証券評価損	330	—
特別損失合計	1,681	16,602
税金等調整前四半期純利益	1,269,147	1,268,566
法人税、住民税及び事業税	442,085	509,462
法人税等調整額	83,383	△33,664
法人税等合計	525,468	475,798
少数株主損益調整前四半期純利益	743,678	792,768
四半期純利益	743,678	792,768



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	743,678	792,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,430	△2,558
為替換算調整勘定	446,582	765,306
持分法適用会社に対する持分相当額	△590	134
その他の包括利益合計	451,422	762,882
四半期包括利益	1,195,101	1,555,650
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,195,101	1,555,650
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,576,062	7,688,143	14,264,205	—	14,264,205
セグメント間の内部 売上高又は振替高	76,840	—	76,840	△76,840	—
計	6,652,902	7,688,143	14,341,046	△76,840	14,264,205
セグメント利益	666,000	576,945	1,242,945	△70,872	1,172,073

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	日本	米国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,940,749	8,864,270	15,805,019	—	15,805,019
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80,071	—	80,071	△80,071	—
計	7,020,820	8,864,270	15,885,090	△80,071	15,805,019
セグメント利益	645,866	587,418	1,233,284	△73,758	1,159,525

(注) 1 調整額は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。